事務事業ID 0398

① 手段(主な活動)

昨年度と同様。

出稼労働者

○市広報・市議会だより送付○健康診断の実施(1月)。

○出稼ぎ互助会への加入等取次

前年度実績(前年度に行った主な活動)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

平成 26 年度 **事務事業マネジメントシート** 

平成 26 年 6 月 23 日作成

単位

₩

口

単位

人

	0000						1 /	-	· -		7, 2	· <b>I</b>	17%
	事務事業名	出稼ぎ者支援事業				実施計画登載事業	Ě		□ 合	併建設	計画:	登載事	業
	政策名	0 5 豊かな市民生活を	宝田士な	<b>完業の振闘</b>		事業期間				予	算科		
政	以來石	0 5 显示"如风生宿仓	天気する	生未り派典		<b>一</b>			会計	款	項	目	事業
政策体	施策名	2 4 雇用の創出と安定				単年度のみ							
系	基本事業名	   0	É		~	<b>単年度繰返</b> (開始 -	年度	₹~)					
	根拠法令				I				01	05	01	01	11
	部課名	商工港湾部 港湾経済課	Į			期間限定複数年度							
亨		佐々木義久				【計画期間】							
厚	係 名	労政係	電話	0192-27-3111	4	▼ 年度~		年度					
	担当者	鈴木真央	内線	113	*	全体計画欄の総投入	量を記	記入					
		(具体的なやり方、手順、詳			全体的	象を記述)		全体計	画(※	期間限	定複数	年度の	み)
		ふるさとの情報提供等の支援事	業を実施す	<b>~</b> る。					国庫	支出金	È.		
	な業務						総	財	都道用	有県支出:	金		
	広報等送付健康診断の実施	te:					投	事源	地	也方債			
		<sup>他</sup> 〜の加入等取次(出稼ぎ互助会	・車業は ル	\ ★財団注 / とスキレハ	トナナ	住財団の車業でなり	17	業 内費 訳	7	の他			
		賃金不払いの一部立て替え申				正的四少事未入的分、	量	負訊		般財源			
		労働者への支援事業に対して対		11.20.7			-		事業費	計 (A)	)		0
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		.,				<u></u>	人正	規職員	従事人	.数		
(※	出稼労働者:1ヵ	月以上1年未満居住地を離れ	て就労する	(雇われる)者かつその京	就労期	間経過後は居住地に	千田田	件	延べ業	務時間			
帰る	らもののうち、市口	内に住所を有するものである。)					$\smile$	費	人件費	計 (B)			0
								トータ	ルコス	-(A)+(	B)		0
	現状把握の部	• •											
(1)	事務事業の目	的と指標											

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

ア 広報送付部数

ゥ

イ 健康診断実施回数

名称

名称

カ 出稼労働者数(出稼ぎ互助会加入者数)

			(この事業によって、 働者が自分自身の健				0	/4	ク ⑦ F	<b></b>	対象における意図の達	成度を表す指標)		
								4	)		名称		単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									サ	健康診断受診率			%	
福利厚生制度が整う。								$\setminus$	シ 出稼ぎ互助会加入率 ス				%	
(2)	総	事:	業費・指標等の推利	名				'	<b>V</b>					
<b>\_</b> /	1110				年度単位	23年度(実績)	24年度(実績)	2	25年度	度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
		B+	国庫支出金		千円									
	事源		都道府県支出金		千 円									
	業	山地刀頂		千 円										
	本書	訳	記しての他		千 円									
投 入	ᆽ	ш×	一般財源		千 円	135	117			114	200	200	200	
量	事業費計(A)			千 円	135	117			114	200	200	200		
	人 正規職員従事人数			人	1	1			1	1	1	1		
	件 延べ業務時間			時間	40	60			50	50	50	50		
	費	人	件費計(B)		千 円	160	240			200	200	200	200	
			トータルコスト(A)+(E	3)	千 円	295	357			314	400	400	400	
				ア	₩	840	660			564	600	600	600	
			⑤活動指標	1	回	1	1			1	1	1	1	
				ウ										
	<i>t.</i>				人	120	30			28	30	30	30	
		⑥対象指標 キ												
				ク										
				<del>+</del>	%	32	38			45	40	40	40	
⑦成果指標シ			シ	%	30	46			46	50	50	50		
				ス										
						_	- 1/3 —			'		(大船	渡市)	

事務事業ID 0398 事務事業名 出稼ぎ者支援事業

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

## ①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

出稼労働者は、昭和30年代後半から増加しはじめ、昭和40年代には急増するに至った。こうした動向に対処するため、岩手県は昭和41年に「岩手県出稼総合対策要綱」を策定し、また、出稼ぎは、特殊な就労 形態であるため就労条件は必ずしも恵まれているわけではなく、その諸問題に対処するため昭和46年5月に出稼対策室を設置した。昭和46年10月には県及び市町村が一体となり行政の補完として県及び市町村の出損によって基本財産2億円を積立て、さらに会員会費、市町村負担金及び県補助金等によって事業運営する財団法人出稼ぎ互助会を設立した。しかし、出稼労働者の減少により平成11年4月1日からは財団法人ふるさといわて定住財団の出稼援護事業として運営されている。

## ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

出稼ぎ者が年々減少し、高齢化している。

が公平・公正になっているか?

雇用保険三事業として出稼ぎ労働者援護事業が平成18年度を持って廃止されたことにより、平成19年度から健康診断事業だけが、県補助金の対象となった。

また、平成22年度からは県補助金も廃止され、市単独事業となった。

平成24年度、旧商工観光物産課から港湾経済課に業務を移管した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

出稼ぎ者からは、広報等送付や健康診断があってありがたいと言う声がある。

2	評価の部(SEE)*原則は事後語	平価、ただし複数年度事業は途中評価
	① 政策体系との整合性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ▼ 結びついている ⇒【理由】 →
目	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	健康診断の実施等によって出稼ぎ者の健康・安全が図られ、福利厚生制度が整うことにつながる。
	② 公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ▼ 妥当である ⇒【理由】 →
当性評	なぜこの事業を当市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?	雇用の安定を図るために出稼ぎ者の情報を常に把握しながら、国・県と連携して行っていく必要がある。
価	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 適切である ⇒ 【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象は出稼ぎ者に限られており、意図も出稼ぎ者に対するものなので、拡大・縮小はできない。
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	対象は山体で有に取り40であり、息凶も山体で有に対するもv/よv/で、144人・相力はようさなv。
	④ 成果の向上余地	<ul><li>✓ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>□ 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒</li></ul>
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差 異の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?	健康診断の重要性等をさらに周知しながら、受診率を高めていくことはできる。
<b>+</b>	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<ul><li>影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>▼ 影響有 ⇒【その内容】 →</li></ul>
有効性評	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	出稼ぎ者に市の情報が伝わりにくくなり、健康診断に自己負担金がでてくる。
価	⑥ 類似事業との統廃合・連携	□ 他に手段がある → (具体的な手段,事務事業)
	の可能性	
	目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業と の統廃合ができるか?類似事業との	□ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を出稼ぎ者に絞り込んでおり、統合はできない。
	連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?	
		<ul><li>✓ 他に手段がない ⇒【理由】</li><li>✓ 削減余地がある ⇒【理由】</li><li>○ 削減余地がある ⇒【理由】</li><li>○ ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映</li></ul>
	⑦ 事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性	成果を下げすに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	て行っていかなければならない。
率性評価	<ul><li>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</li></ul>	▼ 削減余地がない ⇒【理由】 ラ
Щ	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできない か?(アウトソーシングなど)	個人情報を扱うこともあり、今現在の事務事業が必要最低限なため。
公平	<ul><li>⑨ 受益機会・費用負担の適正 化余地</li></ul>	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 公平・公正である ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 出稼ぎ者を全員を対象としているため、サービスの偏りはなく、負担は、出稼ぎ互助会の会費のみであり、強制的な
性評	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	自担はない。

事務事業ID 0398	事務事業名 出	は稼ぎ者支援事業			
3 評価結果の総括と今後	 の方向性( <u>次年度計画と</u>	<u></u>	AN)		
(1) 1次評価者としての評価	西結果 (2枚目と整合を	図ること) (2	2) 全体総括(振り返り、反省		て有益なものであり継続して実
① 目的妥当性	☑ 適切 □ 見	直し余地あり	施したい。 施したい。	水で 有 にこう	て有価なものであり、極利して大
② 有効性	□適切	直し余地あり	`		
③ 効率性	☑ 適切 □ 見	直し余地あり			
④ 公平性	☑ 適切 □ 見	直し余地あり			
(3) 次年度の方向性(改革	改善案)・・・複数選択可	(ただし、廃止・休止・耳	現状維持は重複不可)	(4) 改	革・改善による期待成果
□ 廃止 □ 休止		━-━-━- 薬業統合・連携 ▽	- — - — - — - ¬ 現状維持		改革改善案を実施した場合に期待で こついて該当欄に「●」を記入する。
事業のやり方改善(	有効性改善 効 効	率性改善 公平	性改善)	(廃止	・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する身 受診率を真めていく F5努	具体的な内容) るので、受益者の減少を	た老慮した東紫の目前し	がひ曲でなる	7/	コスト削減 維持 増加
又砂竿を同めているシカ	<b>炒り一刀(、又無日・小阪</b> ラ)	<b>ど</b> 与思しにず未い元回し	ンが必安でめる。		向
				成	推
				果	持 低
					下 × ×
(5) 改革改善を実現する上	で解決すべき課題とその	の解決策又は特記事	項等		
			(職名) ※原則として施策の主	管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価約		2次評価者	港湾経済課長		佐々木 義久
(1) 1次評価結果の客観性					
①記述水準(1次評価の 記述不足でわかり 一部記述不足のの ア記述は十分なされ	りにくい ところがある	『で選択)			
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の。 □ 記述は十分なされ	りにくい ところがある ぃている		1)		
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の □ 一部記述不足の □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2 下 客観性を欠いてま	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 さり評価が偏っている(事	合的に判断して選択			
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の □ 記述は十分なされ □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2 下 客観性を欠いてま □ 一部に客観性を	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 さり評価が偏っている(事	会的に判断して選択 系務事業の問題点、誤	果題が認識されてない)		
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の □ 記述は十分なされ □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2 下 客観性を欠いてま □ 一部に客観性を	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 おり評価が偏っている(事 欠いたところがある よっている(事務事業の問	名的に判断して選択 務事業の問題点、 問題点、課題が認識さ	課題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由	-	
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の □ 一部記述不足の □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(1 下 客観性を欠いてま □ 一部に客観性をクレット □ 平部に客観性をクレット □ 平部に客観性をクロット □ マ観的な評価とな	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 らり評価が偏っている(事 欠いたところがある よっている(事務事業の問 画結果	名的に判断して選択 務事業の問題点、 問題点、課題が認識さ	果題が認識されてない) されている)	పే.	
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の ○ 一部記述不足の ○ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 一部に客観性を欠いてま □ 一部に客観性を ○ 客観的な評価とな (2) 2次評価者としての評価	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 おり評価が偏っている(事 欠いたところがある なっている(事務事業の問 画結果	会的に判断して選択 事務事業の問題点、 問題点、課題が認識さ	課題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由	న <u>.</u>	
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 一部に客観性を欠いては □ 一部に客観性をクマ 客観的な評価とた □ 名観的な評価とた □ 目的妥当性 □ 目的妥当性	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 おり評価が偏っている(事 ないたところがある なっている(事務事業の問 画結果 図 適切 □ 見	会的に判断して選択 事務事業の問題点、 問題点、課題が認識さ (( に) に に に に に に に に に に に に に に に に に	課題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由	పే.	
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の ○ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(ご 客観性を欠いては □ 一部に客観性を欠いては □ を観的な評価とな ② 2次評価者としての評価 ① 目的妥当性 ② 有効性	りにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 おり評価が偏っている(事 ないたところがある なっている(事務事業の問 画結果 図 適切 見 図 適切 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、 問題点、課題が認識さ に に に に に に に に に に に に に	課題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由	<b>ప</b> .	
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の ○ 一部記述不足の ○ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(注 下 客観性を欠いてま □ 一部に客観性をグマ 客観的な評価とな ② 名数評価者としての評価 ① 目的妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ③ 効率性	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 おり評価が偏っている(事 欠いたところがある よっている(事務事業の問 画結果 図 適切 見 図 適切 見 見 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、課題が認識さ 問題点、課題が認識さ には には には には には には には には には には	<ul><li>課題が認識されてない)</li><li>されている)</li><li>3)評価結果の根拠と理由</li><li>適切な事務事業がなされてい。</li></ul>		革・改善による期待成果
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(注 下 客観性を欠いては □ 一部記述不足の客観性を欠いては □ 客観的な評価とな マ 報的な評価とな ② 2次評価者としての評価 □ 目的妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ④ 公平性 □ 公平性 □ (4) 次年度の方向性(改革 □ ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総 おり評価が偏っている(事 ないたところがある なっている(事務事業の問 番結果 図 適切	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ には には には には には には には には には には	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい 。 現状維持は重複不可)	(5) 改 左記(4)に。	より期待できる成果について該当欄に
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(注 下 客観性を欠いては □ 一部に客観性を欠いては □ を観的な評価とな 図 2次評価者としての評価 ① 目的妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ④ 公平性 ② な平性 ② な で で で で で で で で で で で で で で で で で で	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 だいたところがある ないたところが事業の問 ではる(事務事業の問 ではる(事務事業の問 ではる(事務事業の問 ではる(事務事業の問 ではる(事務事業の問 ではる(事務事業の問 ではる(事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、事務事業の問 では、またでは、事	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ には には には には には には には には には には	<ul><li>課題が認識されてない)</li><li>されている)</li><li>3)評価結果の根拠と理由</li><li>適切な事務事業がなされてい。</li></ul>	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、	
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 字観性をといる 図 を観性をといる 図 を観性をといる 図 を見からない 目的 妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分平性 ② 分平性 ② か平性 ② かから 「□ 廃止 いり方改善」 「□ 廃止 いり方改善」 「□ トール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 だいたところがあ事業の問 ないたところが事業の問 本結果 図 適切 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、	より期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異なる1次評価の結果も「〇」で記入する。1次評価の場合は記入不要) コスト
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 字観性をといる 図 を観性をといる 図 を観性をといる 図 を見からない 目的 妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分平性 ② 分平性 ② か平性 ② かから 「□ 廃止 いり方改善」 「□ 廃止 いり方改善」 「□ トール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 なり評価が偏っている (事務事業の問 本	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、	より期待できる成果について該当欄に する。また、1次評価と内容が異なる 1次評価の結果も「〇」で記入する。 ・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 字観性をといる 図 を観性をといる 図 を観性をといる 図 を見からない 目的 妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分平性 ② 分平性 ② か平性 ② かから 「□ 廃止 いり方改善」 「□ 廃止 いり方改善」 「□ トール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 だいたところがあ事業の問 ないたところが事業の問 本結果 図 適切 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、 (廃止	より期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異なる1次評価の結果も「〇」で記入する。・・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 字観性をといる 図 を観性をといる 図 を観性をといる 図 を見からない 目的 妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分平性 ② 分平性 ② か平性 ② かから 「□ 廃止 いり方改善」 「□ 廃止 いり方改善」 「□ トール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 だいたところがあ事業の問 ないたところが事業の問 本結果 図 適切 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、	より期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異なる1次評価の結果も「〇」で記入する。・・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 字観性をといる 図 を観性をといる 図 を観性をといる 図 を見からない 目的 妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分平性 ② 分平性 ② か平性 ② かから 「□ 廃止 いり方改善」 「□ 廃止 いり方改善」 「□ トール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 だいたところがあ事業の問 ないたところが事業の問 本結果 図 適切 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、 (廃止	**の期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異な。1次評価の結果も「○」で記入する。 -・休止の場合は記入不要)  コスト 削減 維持 増加 向 上  ・株・ ・株・ ・株・ ・株・ ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足のの □ 記述は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字観性を欠いては □ 字観性をといる 図 を観性をといる 図 を観性をといる 図 を見からない 目的 妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分平性 ② 分平性 ② か平性 ② かから 「□ 廃止 いり方改善」 「□ 廃止 いり方改善」 「□ トール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	リにくい ところがある れている 2次評価を行った後に総事 だいたところがあ事業の問 ないたところが事業の問 本結果 図 適切 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、 (廃止	おり期待できる成果について該当欄に する。また、1次評価と内容が異なる 1次評価の結果も「〇」で記入する。     ・休止の場合は記入不要)     コスト 削減 維持 増加 向上     は     は     は     は     は     は     は     は     は     は     は     は     は     は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    れ    は    は    は   れ    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は   は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は    は
□ 記述不足でわかい □ 一部記述不足の ○ 記述 は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字を観性を欠いてまる ○ 字を観性を変	リにくい ところがある 2次評価を行った後に総 3のにいる 2次評価がある ないでいる(事務事業の) 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、 (廃止	**の期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異な。1次評価の結果も「○」で記入する。 -・休止の場合は記入不要)  コスト 削減 維持 増加 向 上  ・株・ ・株・ ・株・ ・株・ ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・
□ 記述不足でわかり □ 一部記述不足の ○ 記述 は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字を観性を欠いてまる ○ 字を観性を変	リにくい ところがある 2次評価を行った後に総 3のにいる 2次評価がある ないでいる(事務事業の) 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、 (廃止	**の期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異な。1次評価の結果も「○」で記入する。 -・休止の場合は記入不要)  コスト 削減 維持 増加 向 上  ・株・ ・株・ ・株・ ・株・ ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・
□ 記述不足でわかい □ 一部記述不足の ○ 記述 は十分なされ ②評価の客観性水準(2) 字を観性を欠いてまる ○ 字を観性を変	リにくい ところがある 2次評価を行った後に総 3のにいる 2次評価がある ないでいる(事務事業の) 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は 一は	会的に判断して選択 務事業の問題点、認 問題点、課題が認識さ にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にし余地あり にしただし、廃止・休止・到 にはなら・連携 に変になる。	果題が認識されてない) されている) 3)評価結果の根拠と理由 適切な事務事業がなされてい  現状維持は重複不可) 現状維持 性改善)	(5) 改 左記(4)に。 「●」を記入 場合には、 (廃止	**の期待できる成果について該当欄に、する。また、1次評価と内容が異な。1次評価の結果も「○」で記入する。 -・休止の場合は記入不要)  コスト 削減 維持 増加 向 上  ・株・ ・株・ ・株・ ・株・ ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・

**-** 3/3 **-**